No. 116

難解構文がストンと落ちる解説20(クジラの構文・no more than…)

クジラの構文から not until まで、丸暗記で終わりがちな難解構文20を「形→理屈の図→自然な訳→入試の狙い」でストンと落とす。

Web版はこちら

ここだけ3行	1 no＋比較級＝「差ゼロ」。クジラも no sooner もこの1本で解ける	2 クジラ＝AもCも両方否定。than 以下は「誰でも×」の物差し	3 訳はまず型で書く→日本語に整える(〜して初めて／いくら〜しても)

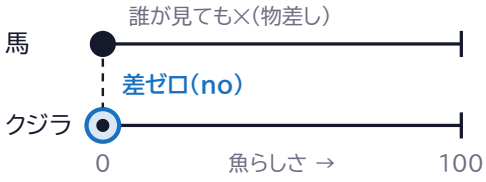
まずこれ:比較の no は「差ゼロ」マーク

not＋比較級は「〜より上ではない(同じか下)」と範囲を言うだけ。**no＋比較級**は「差が**ゼロ**」と言い切り、そこに話し手の評価(「〜どころか」「たったの」)が乗る。no more than 10＝10と差ゼロで「多いなんてとんでもない→たった10」。クジラの構文・no less・no sooner も、すべて「差ゼロ」で説明がつく。

◆ 図解:クジラの構文は「物差しと差ゼロ」

no more ～ than … ＝ 両方×

A whale is no more a fish than a horse is.

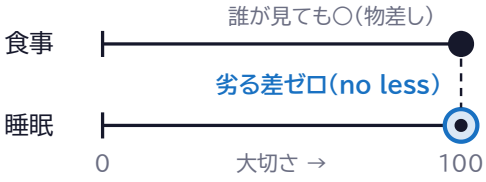


⇒ クジラも魚ではない

クジラが魚でないのは、馬が魚でないのと同じ

no less ～ than … ＝ 両方○

Sleep is no less important than diet.



⇒ 睡眠も大切

睡眠は食事に劣らず大切だ(両方肯定)

than の後ろ＝誰でも判定できる物差し。no＝その物差しと差がゼロ

◆ ① クジラ一族:no＋比較級は「差ゼロ」 4

than 以下は「物差し」。物差しと差がない＝同じ評価になる

☐ 1 A is no more B than C is (D)

【クジラの構文】than 以下には誰が見ても×の例(馬が魚？)を置く。Aの「魚らしさ」はその×と**差がゼロ**→A も×。**AもCも両方否定**。＝A is not B any more than C is (D)。▸入試:和訳・同意文選択

図▶ 魚らしさ:馬＝0点(誰でも×)／クジラ−馬＝0(no)⇒ クジラも0点

A whale is no more a fish than a horse is.
直訳:クジラが魚である度合いは、馬が魚である度合いと少しも変わらない
→意訳:クジラが魚でないのは、馬が魚でないのと同じだ。

× than 以下を「馬は魚だ」と肯定で読む(than 以下は誰でも否定する物差し)

☐ 2 A is no less B than C is (D)

クジラの裏返し。than 以下に誰もが認める○を置き、A は「劣る差がゼロ」→A も○。**両方肯定**で「C に劣らず A も〜」。as ～ as より強い言い方。▸入試:no more 型との訳し分け

図▶ 大切さ:食事＝100点(誰でも○)／食事−睡眠＝0(no less)⇒ 睡眠も100点

Sleep is no less important than diet for your health.
健康にとって、睡眠は食事に劣らず大切だ。

× 「睡眠は食事ほど大切ではない」と否定で訳す

☐ 3 no more than ～／no less than ～(数量)

no＝差ゼロ＝ちょうどその数。そこに「多くない！」「少なくない！」の評価が乗る。no more than＝**only**(たった)、no less than＝**as many [much] as**(～も)。▸入試:言い換え4択

図▶ 少 ←—[10]—→ 多　no more than 10＝多い側へ0歩「たった10」／no less than 10＝少ない側へ0歩「10も」

It's no more than a ten-minute walk to the station.
駅までは歩いてほんの10分だ。

× no less than 2,000 people を「2000人以下」と訳す(正しくは「2000人も」)

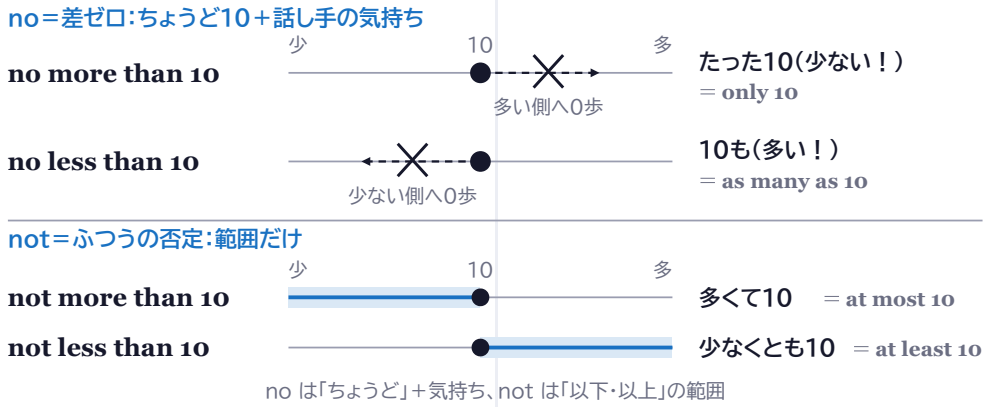
☐ 4 not more than ～／not less than ～

not は普通の否定で、範囲を言うだけ。not more than＝**at most**(多くて／～以下)、not less than＝**at least**(少なくとも)。※試験の指示文 Use no more than 50 words. は「50語以内」の意味。no 型も実際は範囲に使われる。

図▶ not more than 3 ＝ ≦3(at most)／not less than 3 ＝ ≧3(at least)

The repairs will cost not less than 50,000 yen.
修理には少なくとも5万円かかるだろう。

◆ 図解：no と not の4兄弟を数直線で



◆ no と not の4兄弟（数量）

表現	意味	言い換え	気持ち
no more than 10	たった10	only 10	少ない！
no less than 10	10も	as many [much] as 10	多い！
not more than 10	多くて10（10以下）	at most 10	なし（範囲）
not less than 10	少なくとも10	at least 10	なし（範囲）

◆ ② 比較のひねり技：言いたいのはどっち？ 6

☐ **1 not so much A as B**

直訳は「B ほどには A ではない」。A より B の方が当てはまる→「A というよりむしろ B」。主張は後ろの B。＝B rather than A／less A than B。※not so much as V は「～さえしない」で別物。▸入試：同意文選択

図▶ 当てはまり度：A（才能）＜ B（努力）⇒ 主張は B

Success depends not so much on talent as on effort.
成功は才能というよりむしろ努力で決まる。

× talent rather than effort を選ぶ（A と B を逆にした誤答が定番）

☐ **2 as ～ as any（＋名詞）／as ～ as ever lived**

「どれと比べても同じくらい～」→どれにも負けない＝実質の最上級（厳密には「トップタイ」）。as ever lived は「かつて生きたどの人とも同じくらい」。▸入試：最上級・比較級＋than any other への書き換え

図▶ A ≧ どの B とも同点 ⇒ A はトップ集団

He was as great a scientist as ever lived.
彼は古今まれに見る偉大な科学者だった。

× as a great scientist as（正しくは as＋形容詞＋a＋名詞＋as）

☐ **3 X times as ～ as／X times the 名詞 of**

as ～ as（＝同じ）に「×X」の目盛りをかけるだけ。倍数は必ず先頭の as の前。名詞型は size・number・amount・length などを使う。half／twice も同じ位置。▸入試：整序の語順

図▶ A＝B×3 ⇒ A is three times as large as B ＝ three times the size of B

China is about twenty-five times the size of Japan.
中国の面積は日本の約25倍だ。

× as three times large as（倍数を as の後ろに入れる）

☐ **4 The 比較級 ～, the 比較級 …**

前の the＝「その分だけ」、後ろの the＝「それだけ」。2つのメーターが連動する。the は冠詞ではなく副詞。比較級にくっつく形容詞・名詞はまとめて文頭へ。▸入試：整序・和訳

図▶ ～ が1目盛り↑ ⇔ … も1目盛り↑（連動メーター）

The more you practice, the more confident you become.
練習すればするほど自信がつく。

× The more you are careful（正しくは The more careful you are）

☐ **5 否定＋比較級＝最上級**

「これより上はない」＝ここが天井＝最上級の意味。Nothing is more ～ than A／No other ～ is as … as A。can't＋比較級も「これ以上は無理」＝最大限。▸入試：書き換え・会話文

Nothing is more precious than time.
時間ほど貴重なものはない。

A: This plan is perfect. / B: I couldn't agree more.
A：この計画は完璧だ。B：まったく同感だ。

× I couldn't agree more. を「これ以上は賛成できない＝反対」と取る

☐ **6 cannot ～ too …**

「～しすぎることはできない」→どれだけやっても「やりすぎ」ラインに届かない→「いくら～してもしすぎることはない」。cannot ～ enough、It is impossible to overemphasize ～ も同じ発想。▸入試：和訳

図▶ 注意 ――――――――→∞（「やりすぎ」ラインはどこにもない）

You cannot be too careful when choosing friends.
友人を選ぶときは、いくら注意してもしすぎることはない。

× 「注意しすぎてはいけない」と禁止で訳す

◆ ③ 時と否定：スイッチが入る瞬間 5

☐ **1 not A until B／It is not until B that A**

「B まで A しない」＝ふつうは B を境に A のスイッチが入る。だから「B して初めて A」と訳すと自然。強調構文で B を前に出した形が頻出。▸入試：書き換え・和訳

図▶ －A×－A×－|B|－A○ －→ 時間

It was not until I left home that I realized how much my parents had done for me.
家を出て初めて、両親がどれだけのことをしてくれていたかに気づいた。

× not を見落として「家を出るまで気づいていた」と読む

② Not until B＋倒置／否定語の文頭

否定語や only の句(Never／Little／Not until ～／Only after ～)を文頭に出すと、主節は疑問文の語順になる。「普通でない語順」＝強調の合図。Not until の節の中は倒置しない。▸入試:正誤・整序

> 図▶ Not until [the rain stopped] ＋ did the game resume(倒置は主節だけ)

> Little did I dream that I would win.
> 自分が優勝するとは夢にも思わなかった。

× Not until did the rain stop, the game resumed.

③ No sooner had S p.p. than …／Hardly had S p.p. when …

no sooner＝「B は A より早くない(差ゼロ)」→A の直後に B→「A するとすぐに B」。A は過去完了、B は過去。no sooner は than、hardly・scarcely は when [before]。▸入試:than／when の選択

> 図▶ A(had p.p.)｜B(過去):時間差≒0(no sooner＝差ゼロ)

> No sooner had I sat down than my phone rang.
> 座ったとたんに電話が鳴った。

× No sooner had I sat down when …(no sooner と組むのは than)

④ not … because ～(否定の範囲)

not が because 節まで打ち消すと「～だから…というわけではない」。理由だけを否定し、主節の事実は残る。後ろに but because … が続けばこの読みで確定。▸入試:和訳・内容一致

> 図▶ not [chose this school because it was close] →「近いから選んだ」を丸ごと否定

> I didn't choose this school because it was close to home, but because I liked its teachers.
> この学校を選んだのは家から近いからではなく、先生が気に入ったからだ。

× 「近いのでこの学校を選ばなかった」と訳す(but because の文では誤り)

⑤ nothing but／anything but／all but

but＝「～以外」。nothing but X＝X 以外何もない＝**ただ X だけ**。anything but X＝X 以外なら何でも＝**決して X ではない**。all but X＝X 以外は全部そろう＝**ほとんど X**(※all but two students は「2人以外全員」)。▸入試:意味の4択

> 図▶ nothing but＝only／anything but＝not at all／all but＝almost

> The test was anything but easy.
> そのテストは決して簡単ではなかった。

× anything but easy を「何よりも簡単」と読む

◆ ④ what・関係詞・as の正体 5

① A is to B what C is to D

what C is to D＝「C が D に対して持つ関係(役割)」。全体で「A の B に対する関係は、C の D に対する関係と同じ」＝比例式 A:B＝C:D。What C is to D, A is to B の倒置型もある。▸入試:和訳

> 図▶ 読書:心 ＝ 運動:体(A:B＝C:D)

> Reading is to the mind what exercise is to the body.
> 直訳:読書の心に対する関係は運動の体に対する関係と同じ →意訳:読書は心にとっての運動だ。

× what を疑問詞「何」と訳す

② what S is／what S used to be

what＝the thing which。「S が今あるところのもの」＝今の S の姿・人柄。what S has(財産・持ち物)と対で出ることが多い。▸入試:和訳の意訳力

> 図▶ what I am＝今の私(中身)／what I have＝持っている物

> My parents have made me what I am today.
> 直訳:両親が私を今日の私にした →意訳:今日の私があるのは両親のおかげだ。

× 「私が何であるか」と疑問詞で訳す

③ what is called X／what we call X

what＝「～ところのもの」。「X と呼ばれているもの」＝**いわゆる X**。仲間に what is more(そのうえ)、what is worse(さらに悪いことに)。▸入試:空所補充(which との区別)

> He is what is called a walking dictionary.
> 彼はいわゆる生き字引だ。

> It was cold, and what was worse, it began to snow.
> 寒かった。さらに悪いことに、雪が降り出した。

× He is which is called …(先行詞がない→what)

④ 関係詞＋S think＋V(連鎖関係詞)

S think を( )でくくると「関係詞＋V」が見える。who は think の目的語ではなく後ろの動詞の主語→whom は誤り。訳は「S が～だと思う(人)」。▸入試:who／whom の正誤・和訳

> 図▶ a student who(she believed)would work hard → who が would work の主語

> She hired a student who she believed would work hard.
> 彼女は、よく働くだろうと信じた学生を雇った。

× a student whom she believed would work hard

⑤ 形容詞・無冠詞名詞＋as S V(譲歩)

Though she is young の young を前に出して強調した形＝「～だけれども」。名詞は冠詞が消える(Child as he was)。※文脈によっては「～なので」の意味にもなる。▸入試:整序・和訳

> 図▶ Though she is young → Young as she is

> Young as she is, she speaks three languages.
> 彼女は若いのに3か国語を話す。

× A child as he was, …(前に出した名詞の冠詞は消す)

◆ 誤答の選択肢はこう作られる 7

× ~~no more than 3 days＝3日以上~~
○ **たった3日(only 3 days)**
「以上・以下」と混同させる。no＝差ゼロ＋「少ない！」の気持ち

× ~~A is no more B than C is＝A は C ほど B でない~~
○ **A が B でないのは C が B でないのと同じ**
「比べる」訳は×。AもCも両方否定

× ~~not so much A as B＝B というよりむしろ A~~
○ **A というよりむしろ B**
A と B の逆転は同意文選択の定番

× ~~anything but＝何でも／～だけ~~
○ **決して～ではない**
nothing but(～だけ)と取り違えさせる

× ~~cannot be too careful＝注意しすぎてはならない~~
○ **いくら注意してもしすぎることはない**
禁止ではなく「上限なし」

× ~~Young as she is＝若いので~~
○ **若いけれども**
形容詞が as の前に出たら、まず譲歩を疑う

× ~~No sooner had I left when it rained.~~
○ **No sooner … than／Hardly … when**
相方の取り違えは正誤問題の定番

和訳で減点されない作法

採点者が見るのは「構文がわかっていることが訳に出ているか」。クジラ＝「～でないのは…でないのと同じ」、no less＝「…に劣らず～」、not until＝「～して初めて」、cannot too＝「いくら～してもしすぎない」。**まず型どおりに訳し、その後で日本語として整える**。いきなり意訳すると、構文を取れているかが伝わらない。

● 確認テスト

1 A whale is no more a fish than a horse is. の正しい訳は？

a クジラが魚でないのは馬が魚でないのと同じ
b クジラも馬も魚の仲間だ　c クジラは馬ほど魚ではない
d クジラは馬以上に魚だ

2 The hall holds no less than 2,000 people. の no less than に最も近いのは？

a only　b at most　c as many as　d fewer than

3 You can't be ＿＿＿ careful when you cross the street.

a much　b very　c so　d too

4 ＿＿＿ had I gone to bed than the phone rang.

a Hardly　b Scarcely　c No sooner　d Not until

5 He is not so much a scholar as a writer. = He is a writer ＿＿＿ a scholar.

a rather than　b as well as　c no less than　d as much as

6 It was not ＿＿＿ I lost my health that I realized its value.

a since　b before　c when　d until

7 She is anything but shy. の意味は？

a 彼女はほとんど内気だ　b 彼女は内気なだけだ
c 彼女はとても内気だ　d 彼女は決して内気ではない

8 Tired ＿＿＿ he was, he kept working.

a as　b so　c what　d such

● 解答

1 クジラが魚でないのは馬が魚でないのと同じ no＝差ゼロ。than 以下の×と同じ評価
2 as many as「2000人も」と多さを強調
3 too cannot ～ too＝いくら～してもしすぎない
4 No sooner than と組むのは no sooner
5 rather than 主張は後ろの B(writer)
6 until 健康を失って初めて価値に気づいた
7 彼女は決して内気ではない anything but＝決して～ない
8 as 形容詞＋as S V＝～だけれども

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全439本・無料)